

2022年12月23日

ほしざらサロン 2022年11月議事録

文責：阪本 麻裕

日 時： 2022年11月26日(土) 18:00～22:00

場 所： プラネタリウム事務所

参加者： 濱島、宮田、山田(明)

(50音順、敬称略)

職 員： 小野田、平野、石橋、阪本

計 7名

* リモート(Microsoft Teams, Zoom)参加者はなし。

ほしざらサロンの開始前に、クリスマスツリーの飾り付けを行った。

1. 流星の観望会について

以前、ユリックスの活性化事業として、流星の観望会を開催してほしいとの話があった。特に盆期間は駐車場が開放されているため、ペルセウス座流星群を見てみてはどうかとのことである。来年のペルセウス座流星群やふたご座流星群の条件が良いため、下見を兼ねて、前回のサロンのときに内輪で行ってみないかという提案があった。

小野田： 今年のふたご座流星群は、12月14日(水)頃に極大を迎える。月齢は20.5。

平野： 月の出が23時ごろである。

山田(明)： 開催する場合はぜひ参加したい。過去に平尾台でふたご座流星群を見たことはあるが、あまり流れなかった。流れ星を見るのであれば、夜半過ぎが良いかと。

平野： 北九州市内でも流星は見えるのか。

濱島： 夜景は綺麗だが、星はあまり見えない。

宮田： 2週間天気予報によると、宗像市での14日の最高気温は12度、最低気温は5度とのこと。

小野田： 各自で防寒着の準備をし、足用カイロは貸し出す予定。詳細等は職員で確認し、決まり次第ほしざらスタッフのメーリングリストでお知らせをする。

-->有志で行い、開始時刻は未定(20時30分頃?)だが、22時(ユリックス閉館時刻)終了予定。

2. 来年の観望会(ほしざらウォッチング)について

前回のサロンで、来年の観望会の日程候補を話し合った。初回の日程は決定し、既に案内をしている。

===== 次回のほしざらウォッチング =====

2023年3月11日(土)「すばる・火星」

19:30~20:00 プラネタリウムでの解説

20:00~21:00 天体観望

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

以下、観望会の日程候補である。

- 4月29日(土・祝)「上弦の月と金星」
- 6月17日(土)「太陽」
- 8月19日(土)「夏の星座」
- 9月=日(=)「お月見」…… 実施日は未定。[来年の中秋の名月:9月29日(金)]
- 11月4日(土)「木星・土星」

2-1. 4月29日(土・祝) ほしざらウォッチング「上弦の月と金星」について

===== 予定 =====

19:30~20:00 プラネタリウムでの解説(プラネタリウム)

20:00~21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

山田(明): 金星の高度は、20時で29度、21時で17度である。

宮田: 月と金星の間に火星があるが、火星は見ないのか。

山田(明): 3月のウォッチングのときに見るため、月と金星で良いと思う。

-->この時期、アクアドームでイベントがあるため、日程を確認し、決定したい。

2-2. 6月17日(土) ほしざらウォッチング「太陽」について

来年の夏至は、6月21日(水)である。例年、夏至のあたりで観望会を行っている。

===== 予定 =====

17:00~18:00 太陽の観察(ユリックス正面玄関前)

18:15~18:45 プラネタリウムでの解説(プラネタリウム)

※ 雨天時は太陽観察を中止し、プラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

山田(明): 黒点があるときは投影板で見ているのか。

小野田: CORONADO(太陽望遠鏡)でもその様子を観察している。

山田(明): CORONADOで見える太陽の様子をスクリーンに映してみると、迫力があり見応えがある。デジカメや携帯電話等で撮影することができるのであれば、試してみたい。

宮田: iPhoneやiPadからはディスプレイに映すことができそうかもしれない。ただ、iPadは

重いため、好ましくないと思う。

山田(明)： 物理的には一眼レフカメラでも良いが、重量がある。GoPro でも良いかも知れない。

小野田： 太陽の様子を拡大して説明等といった、来年は新しい展開にできると良いかも知れない。

2-3. 8月 19日(土) ほしざらウォッチング「夏の星座」について

=====予定=====

19:30～20:00 プラネタリウムでの解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アカドーム前広場)

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

山田(明)： この時期、惑星は見えていないのか。

小野田： 残念ながら見えていない。20時半頃に土星が東の空から昇ってくるが、まだ低いと思う。

山田(明)： 織姫(ベガ)や彦星(アルタイル)といった恒星、あるいはわし座にある散開星団やこぎつね座の亜鈴状星雲も良いかも知れない。ただ、星雲や星団はあらかじめその姿や様子が分かっていないと良さが分からない。

宮田： 8月の観望会は、夏休み期間中のため家族連れが多い傾向である。観望するのであれば、短時間で見やすい恒星の方が良いと思う。

山田(明)： 天頂付近は屈折望遠鏡よりも反射望遠鏡の方が好ましい。20cmの反射望遠鏡を保有しているため、観望会でぜひ使用してほしい。過去にミード 20cm 反射望遠鏡を借りて天体撮影をしたことがある。鏡筒のみで十分重いため、軽くて扱いやすければ良いのだが。

宮田： 実際、反射望遠鏡を出して、状態を確認する必要がある。

2-4. 9月 ほしざらウォッチング「お月見」について

来年の中秋の名月の日は、9月 29 日(金)である。

宮田： 今年のお月見ウォッチングは、20時開始だった。

小野田： 来場者が多かったため、来年の観望会も不安であるが、我々スタッフ側も対応する人数を確保して、万全な体制で臨む必要がある。そのため、土曜日の方が良いと思う。

宮田： 30日(土)の方が良いと思う。中秋の名月の翌日で、月齢が 15.4 である。

=====予定=====

20:00～21:00 天体観望(風の丘)

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみを行う。

3. 1月以降の活動について

- ★ 1月 14日(土) ほしづら友の会(13:30～16:00 日時計工作・冬の星座)
- ★ 1月 28日(土) ほしづらサロン(18:00～22:00)
- ★ 2月 11日(土・祝) ほしづら友の会(9:30～10:45 地球について)
- ★ 2月 25日(土) ほしづらサロン(18:00～22:00)
- ★ 3月 11日(土) ほしづら友の会(9:30～10:45 星の一生について)
ほしづらウォッチング「すばる・火星」(19:30～21:00)
- ★ 3月 25日(土) ほしづらサロン(18:00～22:00)

次回のほしづらサロンは、2022年12月24日(土)です。